

学力向上通信

令和6年3月14日

3月号

八ヶ崎第二小学校

1年生から5年生は、進級を目前に控え、子どもたちの気持ちも少し浮き足立つ時期です。学習面の成果と課題をしっかりと伝え、1年間の成長を確かめつつ、残り1週間、最後まで課題にしっかりと向き合えるよう指導をしていきたいと思えます。

○今年度の職員研修から

今年度の校内研修は「自ら学びともに考えられる児童を目指して～表現する力を育てる国語の授業づくり～」を主題とし、文章を正しく読み取って、感じたことや考えたことを伝え合え合おうとする子を育てる授業作りに、取り組んでまいりました。

研修の成果の検証（アンケート結果）では、「物語や説明文を読んで、内容がよくわかりますか。」という質問において、8割が「わかる」「少し分かる」と肯定的な回答をしています。特に、1年生、2年生で「わかる」との回答が増えました。

「文の考えをノートやワークシートに書くことはできますか。」という質問には9割が肯定的な回答をしています。

「話し合うことはできますか。」という質問についても9割が肯定的な回答をしています。また、「分かりやすく伝えることができますか。」という質問では、「できる」という回答が3割にとどまりました。

「分かりやすく」という評価の観点を子どもたちに明確にし、どのような伝え方が良い伝え方なのかという視点を持たせることが今後の課題であると感じました。

○3学期の取組から

・算数検定（2月9日）の結果

検定級は6年間を通じて11級から1級まで設定されています。100点満点で合格となるのですが、今回の合格者は67名でした。合格率19%で、約5人に1人が合格となっています。2学期の合格率が15%に比べると向上しておりますが、更に計算の精度を高められるよう、次年度への課題としたいと思います。

・漢字検定（2月27日）

漢字検定も算数検定と同様に実施をしています。今回の合格者は92名で、合格率は26%でした。2学期が18%だったので、こちらも向上が見られます。

算数検定、漢字検定の合格者には、合格証が配付されます。学力の向上には子どもたちの主体的な学びが不可欠だと思います。ご家庭でも励ましのお声かけをお願いします。

・学年末漢字テスト（3月4日～6日）の結果

1年間のまとめの漢字50問テストは、平均点71.9点と、2学期の73.6点を下回る結果となりました。1年生と2年生はいずれも2学期の平均を上回ったのですが、高学年になるに従って、2学期の平均を下回る傾向にありました。これは、出題範囲が2学期よりも広くなったことが原因と考えられるのです。時間が経ってもしっかりと書けるように定着させる学びが今後の課題です。